

令和3年度 第5回鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 令和4年3月14日(月) 13:30 ~ 14:48
会議方法 Google Meetによるオンライン会議
出席者 (学外) 江崎, 熊埜御堂, 中島, 林田, 宮崎, 松本, 渡辺の各委員
(学内) 中島, 田村, 河田, 細井, 小嶋, 藪田, 坂本の各委員
陪席者 田中監事, 山根副学長, 後藤副学長, 安延副学長, 山口副学長,
岸本地域学部長, 中村医学部長, 坂口工学部長, 霜村農学部長

議事要旨の承認

前回(令和4年1月19日開催, 令和3年度第4回)の議事要旨を承認した。

議 題

1. 令和4年度鳥取大学予算(案)

資料1に基づき, 令和4年度鳥取大学予算案における収入・支出内訳(大学分, 附属病院分及び外部資金関係分, 全学合計), 対前年度比増減額及び要因について説明があり, 審議の結果承認した。

報 告

1. 令和4年度運営費交付金予算額の概要

資料2に基づき, 令和4年度運営費交付金予算額について前回会議(令和3年度第4回)後, 文部科学省から示された予算額詳細及び「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の配分指標における本学の現状について報告があった。

— 委員からの主な発言 —

- ◇ 各配分指標において順位が低いものの改善策等, 大学として何をどうすれば良いかわかる様な仕組みになっているのか質問があり, 各指標は大学から文部科学省へ提出した実績に応じて数値化されており, 大学の弱点が一目でわかる仕組みとなっている。改善策についても一朝一夕でどうにかなるものばかりでは無く, 長期的スパンでしっかり取り組んでいく旨回答があった。
- ◇ 各配分指標において鳥取大学がグループ内でどの位に位置しているか等, より詳細な資料があれば, 学外委員もわかりやすいといった意見があった。
- ◇ 科研費獲得に向けて大学としてどのような取組をおこなっているか質問があり, 申請前の書類を大学でブラッシュアップしたり, 大型の科研費へチャレンジできるよう支援している旨回答があった。

- ◇ 寄附金獲得施策について質問があり、一例として昨年大学としてクラウドファンディングを利用する制度を導入した旨回答があった。
- ◇ 「デジタルハブユニバーシティ構想を促進する次世代体験型VRコモンズ整備」の進捗状況について質問があり、令和2年度にWi-Fi6の整備を実施したことを皮切りに、教育に対するDX（eラーニング・eポートフォリオの導入）や、現在は医学部（米子キャンパス）においてVR・VRC（VRコモンズ）の整備を行っている旨回答があった。

2. 令和3年度決算スケジュール

資料3に基づき、令和3年度決算について、会計監査法人からの意見表明時期及び文部科学省への提出期限について報告があった。

3. 令和4年度の役員等

資料4に基づき、令和4年度の役員等について報告があった。

その他

- ◇ 資料5に基づき、最近の本学の主なトピックスについて説明があった。
- ◇ 資料6に基づき、令和4年度の経営協議会開催日程について説明があり、併せて令和4年度第1回を令和4年6月9日開催予定である旨説明があった。